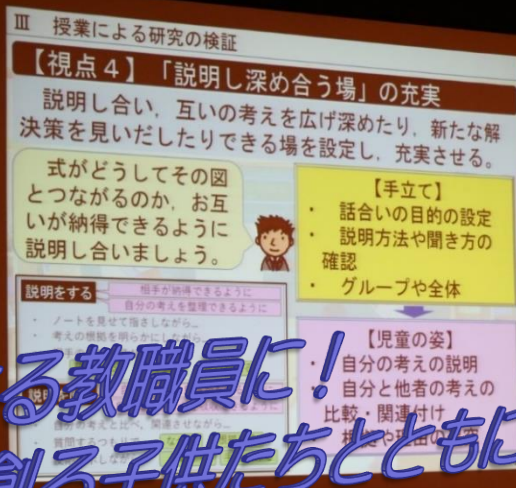




大原台

学び続ける教職員に！
未来を創る子供たちとともに



平成30年2月長期研修者研究発表から

思い

「つかみの砂金」

次長兼研修部長 阿多理

当センターが毎年一月に開催する調査研究発表会」は、年々高度化・多様化する知識やスキルを教職員が如何に身に付け授業改善等に資するかなど、様々な提案を行っている。謂わば、本県教育におけるシンクタンク機能を最も発揮できる場であり、そこでの所員の発表も参加者の琴線に触れ化学変化を起こすものであるべきとの考えの下、時には「この発表にフレイセンが抑(そもそも)も必要か。」といった根源的な疑問も等閑にせず吟味している。

しかし、どんなに吟味を重ねても、肝腎の発表自体が予定調和になつてしまつては参加者の心に火を付ける千載一遇の好機を逸することになる。だから、私は準備した口述は一度思い切つて捨て去り、参加者の反応を享受しながら当意即妙に発表するよう勧めている。この考え方は日常の授業づくりにも通じると思っている。予定調和で子供に語り掛けても、琴線に触れる授業は決してできない。

太宰治の『正義と微笑』に次の件(くだり)がある。学問なんて、覚えると同時に忘れてしまつてもいいものなんだ。けれども、全部忘れてしまつても、その勉強の訓練の底に「つかみの砂金」が残っているものだ。これだ。これが貴いのだ。」

授業の準備が大事であるのは当然である。しかし、その前の子供たちの反応を享受しながら授業をする。とにこそ、教師の醍醐味があるのではなからうか。改訂された学習指導要領が「主体的対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進を求める所以もここにあるのかもしれない。

中国春秋時代の思想家「管仲」は、「十年の計は、穀を樹(う)うるにしくは莫し、十年の計は、木を樹(う)うるにしくは莫し、終身の計は、人を樹(う)うるにしくは莫し」と言つた。

人づくりの教育は焦つてはいかんとと思う。

短期研修 アクティブラーナーとしての学びを支援！

新学習指導要領で示された主体的・対話的で深い学びの実現のためには、教師自らが主体的・協働的に学ぶことのできるアクティブラーナーでなくてはなりません。
平成30年度の短期研修は、新たな学びに対応できるアクティブラーナーとしての学びを支援する様々な講座を提供します。

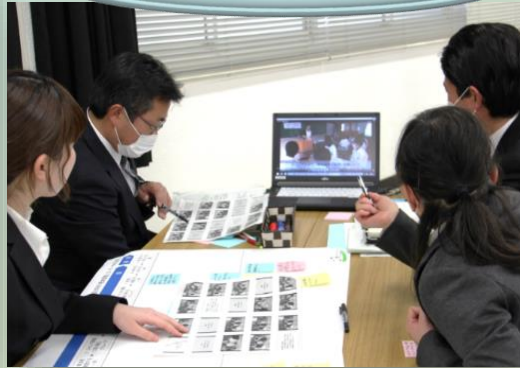
平成30年度の短期研修講座では、授業動画を活用した演習やワークショップ型研究協議などより主体的・協働的、実践的な研修を提供します。

より主体的に！



具体的授業場面の映像を基に一人一人の受講者が、授業者の立場で指導のポイントを追及します。

より協働的に！



ワークショップ型の研究協議を通して、受講者が協働しながら、効果的な教師の働きかけについての考察を深めていきます。

より実践的に！



研修で学んだ理論を「模擬授業」などの活動を通してより実践的な学びに深めていきます。

平成30年度「短期研修講座」は、先生方のキャリア発達を促す148講座を開設します。本年度の講座開設のポイントを紹介します。（「平成30年度短期研修講座案内」より）

平成30年度「短期研修講座」案内

鹿児島県総合教育センター

研修 実施期間・申込期間 講座詳細の確認、受講申込みは Web で！

実施期間 9月12日(金)～14日(日) 申込期間 9月12日(金)～14日(日)

講座名

キャリアステージ

		I	II	III
学びの質を高め、学力向上につながる小中学校国語講座			○	◎
社会的な見方・考え方を働かせる授業を目指す社会科講座			○	◎
基本的な小学校理科授業の進め方と観察、実験法講座①	○	◎		

○ 「かごしま教員育成指標」に示されたキャリアステージにお薦めの講座を「◎」、「○」で示しています。自らのキャリア発達に応じた講座を選びやすくしました。

国語工作	22	美術館で学ぶ国語工作科講座【専門連携】	○ ○ ○	8/10(金)	小
図画工作・美術	23	美術館で学ぶ図画工作科・美術科講座【専門連携】	○ ○ ○	8/27(月)	小中高特
家庭	27	実践的な態度の育成を目指す高等学校家庭科講座	○ ○ ○	6/28(木)	高特
外国語	28	初めての小学校外国語科の授業づくり【大学連携】	○ ○ ○	7/ 5(木)	
情報	33	授業で活用しよう！ICT	○ ○ ○	6/ 5(木)	
道徳教育	34	初めての小学校外国語科の授業づくり【大学連携】		8/ 9(金)	
総合的な学習の時間	36	小学校プログラミング教育入門講座		8/26(木)	
特別支援教育	37	【大学連携】		6/27(木)	
特別支援教育	42	学校の全教育活動を通して推進するキャリア教育講座【専門連携】	○ ○ ○	8/23(木)	小中高特
キャリア教育	44	幼児期に育みたい資質・能力の育成を目指す幼稚園教育講座	○ ○ ○	8/ 2(木)～ 8/ 3(金)	幼小特
幼児教育	45	一幼小の円滑な接続を目指して【大学連携】	○ ○ ○	7/16(木)	
教育の情報化	47	小学校プログラミング教育入門講座	○ ○ ○	7/16(木)	
教育の情報化	47	みんなで取り組			
教育の情報化	48	基礎から分かる			
教育の情報化	50	タブレット端末			
教育の情報化	52	管理職のための一学校C I O			

○ プログラミング教育や小学校外国語科の指導など、新学習指導要領への対応に向けた様々な講座を開設しています。

学びの質を高め、学力向上につながる小中学校国語講座

◎ ○ ○ 7/11 (木)

学びの質を高め、学力向上につながる小中学校算数・数学講座

◎ ○ ○ 7/4 (水) 午後

前期 移動講座

開催地区	教科等	講座番号	講座名	キャリアステージ
日 置	国語	101	学びの質を高め、学力向上につながる小中学校国語講座	I II III IV
	算数・数学	102	学びの質を高め、学力向上につながる小中学校算数・数学講座	
	外国語	104	外国語活動からつなぐ小学校外国語科の授業づくり	
校 校	特別支援教育	105	管理職のための特別支援教育講座	校長、教頭
校 校	国語	107	学びの質を高め、学力向上につながる小中学校国語講座	
体 体	算数・数学	109	学びの質を高め、学力向上につながる小中学校算数・数学講座	
体 体	外国語	110	外国語活動からつなぐ小学校外国語科の授業づくり	
保 保	特別支援教育	112	発達障害等のある子供の指導・支援のための基礎講座	
保 保	生徒指導	113	「学校楽しいーと」等のアセスメントを通した不登校対策講座	

○ 従来の1日の日程の講座に加え、半日の日程の講座も数多く開設し、参加しやすくしました。
○ 半日講座でも、授業の動画を活用するなどして、演習や研究協議を取り入れた、実践的な授業づくりを中心にした内容の講座にしました。

長期研修 本県教育を牽引するミドルリーダーの育成！

各自で設定したテーマ研究に取り組むとともに、教育全般について様々な研修等を受講し、教員としての資質を高め、本県教育を牽引し得る実践力を身に付け、学校現場において即戦力となる教員を目指します！

New 平成30年度から「組織としての学力向上」の研究に取り組む長期研修者（小学校1，中学校1）が新たに加わります！

平成30年度から始まる新しい研修パッケージ

アクティブ・ゼミ

教育課題等についての講義や演習、ディスカッション等を通して教員としての資質向上を高めます。

専門領域特講

教育センターの各課長による、それぞれの専門領域についての講話を通して、視野を広げ、研究の深化に資することができます。

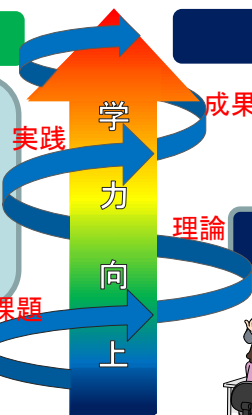
教職大学院生との交流

教職大学院生と互いの研究について議論することで、鹿児島県の教育の課題を共有し、研究の深化に資することができます。

県総合教育センター

長期研修のテーマ研究内容 ○ 学力向上担当教員としての取組

- 〔理論研究及び検証実践〕
- ◆ 学力向上に関する組織づくり
- ◆ 授業改善サイクルの確立
- ◆ 校内研修の活性化
- ◆ 先進校による先行研究の分析
- ◆ 活用問題やルーブリック評価等の研究



所属校



組織的検証実践



校内研修
授業検討
問題作成

「組織としての学力向上」の特徴

所属校へ随時帰校しながら、課題や課題解決に向けた取組を年間を通して研究し、その成果を所属校へ還元していきます。

平成29年度長期研修者の声より

- ・ 数多くの短期研修や研究校、提携校の研究公開に参加でき、多くの刺激を受けました。
- ・ 長期研修にて得られる大きな財産の一つ、それは「出会い」です。教育センターの様々な校種、教科の研究主事にいつでも質問や相談ができ、教科の専門性を高めることができました。
- ・ 長期研修者同士や所員の皆さんとの交流を通して教育や生き方に関する視野を広げることにつながりました。

鹿児島大学教職大学院生との交流会

長期研修と教職大学院

	鹿児島県総合教育センター 長期研修	教育全般についての研修等を通して、教員としての資質を高め、本県教育の充実・発展に寄与する人材の育成を目的としています。
	鹿児島大学教職大学院	学校や地域において指導的役割を果たし得る教員としての指導理論と優れた実践力・応用力を備えた中核的教員の育成を目的としています。

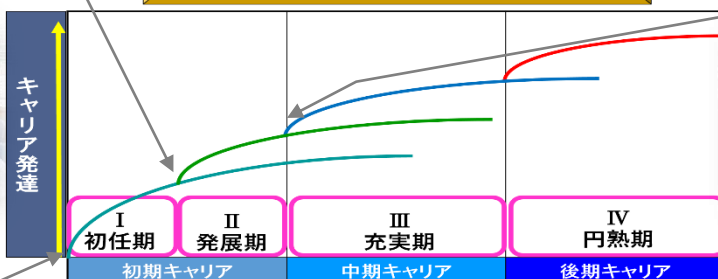
コラム なぜ、教師は学び続ける必要があるの？

人は年齢が進むにつれて、「キャリア発達」が図られていきます。しかし、下図のように、同じ状態が続くとそのキャリア発達が停滞する「**プラトー現象**」が見られるようになります。この現象を解消するために、悉皆研修に参加し、適切な時期に、必要な新たな刺激を受けることで、キャリア発達が促されます。また、悉皆研修だけでなく、自分の課題等に応じて、短期研修を選択するなど、時宜に応じて必要な研修を自ら積極的に受けることも大切です。

ステップアップ研修

キャリア発達におけるプラトー現象

パワーアップ研修



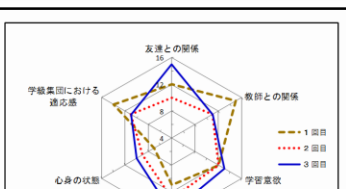
フレッシュ研修

新たな視点から、広く、深く学び、多様な見方ができるようになりました。

いじめを1件でも多く発見し、解消するために 「学校楽しいーと」の質問項目を追加してバージョンアップ！

昨年の10月に改定された県いじめ防止基本方針に、「学校楽しいーと」の活用が明記されています。いじめの防止等のための対策をより実効性の高いものにする観点から、「学校楽しいーと」の質問項目に二項目を新たに追加し、いじめの実態をよりの確に把握して早期発見早期解消できるようにしました。

観点	1回目	2回目	3回目
1 友達との関係	12	10	15
2 教師との関係	15	11	11
3 学習意欲	12	12	13
4 自己肯定感	11	13	15
5 心身の状態	7	9	10
6 学級集団における適応感	14	11	11



観点	質問	1回目	2回目	3回目
友達との関係	1 学校には、気軽に話せる友達がいる。	3	2	3
友達との関係	2 学校には、気軽に話しかけられ、遊びに誘われていた友達がいる。	3	2	3
友達との関係	3 学校には、自分の悩みや不安の気持ちを話せる友達がいる。	3	2	3
学習意欲	4 授業中にできた「わかった」と感じるものがある。	3	2	3
学習意欲	5 授業中、自分から意欲的に参加している。	3	2	3
学習意欲	6 学習した内容を友達と話し合っている。自分なりに学習の力がある。	3	2	3
心身の状態	7 落ち着きがある。	3	2	3
心身の状態	8 おなかが痛くなったり、下痢をしたりする。	3	2	3
心身の状態	9 眠りが浅くなったり、寝ていても起きる。	3	2	3
心身の状態	10 気分が落ちることがある。	3	2	3
いじめ	7 友達から物を隠されたり、暴力を振るわれたりしてつらい思いをすることがある。	3	2	3
いじめ	27 友達から悪口を言われたり、無視されたりしてつらい思いをすることがある。	3	2	3
いじめ	8 友達から物を隠されたり、暴力を振るわれたりしているところを見たり聞いたりしたことがある。	3	2	3
いじめ	28 友達が悪口を言われたり、無視されたりしているところを見たり聞いたりしたことがある。	3	2	3

7	友達から物を隠されたり、暴力を振るわれたりしてつらい思いをすることがある。	1	3	4
27	友達から悪口を言われたり、無視されたりしてつらい思いをすることがある。	4	3	3
8	友達から物を隠されたり、暴力を振るわれたりしているところを見たり聞いたりしたことがある。	1	3	3
28	友達が悪口を言われたり、無視されたりしているところを見たり聞いたりしたことがある。	2	2	2

1	3	4
4	3	3
1	3	3
2	2	2

先生方が児童生徒の学校適応感をアセスメントしやすく回答を顔の表情で示したり、学級票に度数分布で表したりするなどバージョンアップしました。

（「学校楽しいーと」個票）

※ 4月16日から教育相談課のホームページよりダウンロードできます。

児童生徒の教育的ニーズに応じた指導・支援のために！

小・中学校の新学習指導要領に、個々の障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫を検討し、適切な指導を行うことの必要性が述べられています。

特別支援教育研修課では、特別支援学校や、小・中・高等学校の先生方の電話・来所相談、来所研究を行っています。児童生徒の指導・支援について一緒に考えてみませんか。



来所研究の様子

特別支援学級で、実態に応じて国語や算数を教えた。どのようなものを参考に考えればいいの？

小学校 国語（聞く）	
評価項目	
小学校一年	1 話し手を見ながら聞く。
小学校一年	2 話の内容の大体を聞き取る。
小学校一年	3 主人公の行動に感情移入をし、どんでん返しの面白
小学校一年	4 子供同士の話をほぼ理解する。
小学校一年	5 昔話や神話・伝承などの本や文章の読み聞かせを聞く
小学校二年	1 話し手を見ながら集中して聞く。
小学校二年	2 話の順序を考えながら内容を聞き取る。
小学校二年	3 話し手の文末表現や接続語に着目して聞く。
小学校二年	4 大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞く。

子供をよりよく理解するための
国語、算数・数学 チェックリスト
(改訂版)

<チェックリスト活用にあたって>

0歳から6歳までは、発達段階に基づいて、7歳から12歳については、小・中学校学習指導要領の教科の内容を中心に評価項目を整理しています。児童生徒の発達の様子やこれまでの学習内容を参照し、これからの指導の参考にしたいと活用してください。

チェックの方法については、できていると思われる評価項目に○印を付けます。参考となることやチェック項目以外に記録しておきたい場合には、備考（自由記述）欄に記入してください。

所属	学校	学級・学年 (年齢)
氏名		

例：国語（聞く）のチェック
リストの抜粋

鹿児島県総合教育センター

特別支援教育研修課では、発達の段階や教科の内容等を基に、『子供をよりよく理解するための国語、算数・数学チェックリスト』を作成しています。

知的障害特別支援学級においては、当課作成の『特別支援学校（知的障害）における各教科の具体的な内容の例』も参考にできます。